

1 基本情報

事業名称	生態系保全啓発事業				
事業目的	中区の豊かな自然環境が保有する生態系について周知を行い、その保全に向けて考えるきっかけを創出する。				
事業概要	大阪公立大学教授の協力の下、こどもとその保護者を対象とした生態系保全啓発イベントを開催する。 また、イベントに参加できない区民も生態系への関心を深めることができるよう、イベント当日に観察した生き物の写真をホームページに掲載する。				
実施主体	中区役所企画総務課	実施場所	大阪公立大学	実施時期	1回目：令和7年4月19日 2回目：令和7年10月18日

2 設定指標

活動指標	イベントの参加者数		R4	R5	R6	R7
		目標		40人	40人	80人
		実績		36人	46人	96人
成果指標	「生物多様性」という言葉を知っている人の割合（認知度） 市政モニターアンケート調査 ※R5～R7市政モニターアンケート調査未実施のため目標値及び実績値なし		R4	R5	R6	R7
		目標				
		実績	72.4%			

3 事業評価

決算額		64,135		円	
①妥当性	○	②費用対効果	○	⑤総合評価	○
開催場所を中区内の大阪公立大学とし、同大学の教授から学ぶ機会を提供することで、区内の生態系保全について考えるきっかけを創出しており、事業を実施する妥当性が高い。		大阪公立大学と協働することで、イベントで使用する用品の貸与や場所の提供をいただけるため、費用対効果が高い。		今年度はイベントを2回実施したが、各回ともに募集定員に対し2倍以上の申込みがあり、生き物観察イベントへの関心の高さが感じられ、事業内容が区民ニーズに合致していると考えられる。 また、対象者を親子としているため、親子で生態系保全について考えるきっかけを与えることができ、参加者に対して十分に啓発を行うことができた。 以上のことから、本事業は区民利益につながる有効な事業である。	◎：非常に高い水準で達成 ○：十分な水準で達成 △：達成度が限定的 ×：達成されていない －：評価対象外
③庁内・公民等連携	○	④区の計画への寄与度	○		
大阪公立大学と協働の上でイベントを実施し、また、環境共生課に堺いきもの情報館やInstagramにイベント情報の掲載を依頼し、区役所が所有する広報媒体以外でも周知を行うことができ、連携の度合いが高い。		春・秋のイベントを通じて、定員以上の計96人の参加者（親子）及びイベントに参加できなかった区民に対してもホームページを見ることで生き物（生態系）に関心を持つきっかけを提供した。これは計画における「中区の生態系保全に関する区民への周知啓発」の取組に寄与している。			

4 課題と対応方針及び今後の方向性

課題	より新たな発見を生み出すために、実施場所に偏りが出ないような工夫が必要である。	今後の方向性	継続
対応方針	来年度は大阪公立大学をはじめ、こどもたちにとってより身近な公園や池など区内の他の場所も検討する。		